

ヒトが人間になるための進化の歴史

帯刀益夫（東北大学名誉教授）



気候上の変動が起きたことで
変えなくてはならなくなつた
のです。

農業をはじめさせた契機

第5回 農業はどのように始まつたか
人々がいかに優れた科学者であつたかを物語っています。つまり、地球上に移動していく人々は、それぞれの地域で、独立に、野生植物種を栽培して現代の作物種を作り上げるという技術を開拓していくのです。このことは、古代人類が狩猟採集民として移動しながら、植物や動物を観察し、偶然の出来事から野生植物を意図的に栽培する、あるいは野生動物を飼い慣らすという方法を見つけていったのであります。科學者の大事な特性であるセレンディピティを備えていたのです。

典型的な農業の始まりー「肥沃な三日月地帯」

「肥沃な三日月地帯」として有名なチグリス・ユーフラテス川周辺（レヴァント）地域では小麦、大麦、えんどうなどが栽培化され、東アジアでは、米と大豆が開発されたというように、現代のほとんどが、その中心の作物種は、地域で異なった植物種の栽培

に成功していたのです。

また、これらの地域では、野生動物の家畜化も同時に進行しています。農業がどのようにして始まつたかは、レヴァント地方の遺跡調査などから、約一万年前に起きたとされています。この地域は野生のコムギ・オムギ・マメ・ヤギ・ヒツジ・ウシなど栽培・飼育に適

に定住生活を始めたことがわかりました。

そこには野生のコムギも含まれているのですが、一万年前に始まつた栽培種はまだ含まれていませんでした。

しかし、最終氷期末期後に

訪れた温暖化の恩恵に浴して

いた人々の安定的な状態は、

遺跡の住居の地下には、広範囲に及ぶ植物・哺乳類・魚類などの食物が備蓄されていて、すでに定住生活を始めたことがわかりました。

そこで、人びとは、新たな生存の手段を獲得するための格闘を続いているうちに、野生物中心の食事を補うため

2万年前の最終氷期最寒冷期以後ある程度温暖で安定していた気候は、1万2千年前ごろから、この地域も寒冷化がおこり、豊富な野生動植物の採集がむずかしくなつたのです。

そこで、人びとは、新たに生存の手段を獲得するための格闘を続いているうちに、野生物中心の食事を補うため

生じた。その後から今日に至るまで、氷期は訪れるごとに地球は温暖な気候を継続してきていたので、農業は飛躍的に発展しました。

そして、それから約1千年

以後から今日に至るまで、氷

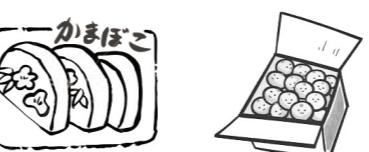
期は訪れるごとに地球は温

暖な気候を継続してきていたので、農業は飛躍的に発展しました。

今年も正月食品の販売を行います。

詳細は11月号に掲載します。

- ・静岡青島みかん
- ・北海道だし昆布
- ・明石のちりめんじやこ等
- ・豊橋のかまぼこ、ちくわ等



今年も後2ヶ月となりました。寒さが駆け足でやってくるので、やらなければならぬことがあります。しかし日々が続くと思いますので、農業は飛躍的に発展したのです。

日本共産党 池田ファンクラブ・ニュース あした天気にな～れ



藤野保史さんが比例北信越ブロックで当選

た。

比例、小選挙区とも中信地区市町村では第1位の得票率でした。

池田町では比例796票（14.52%）で前回比173票減でしたが、小選挙区の統一候補、中川ひろじさん（社民党）は1165票を獲得しました。

藤野やすふみさんは再選を果たすことができました。ご支持、ご支援いただいたみなさんに、心から感謝申し上げます。

10月22日投開票が行われた総選挙で、日本共産党は、前回の21議席から12議席への後退という結果となりましたが、市民と野党の共闘が大きく前進しました。



22日党本部で会見

衆院選挙の結果

部内資料
発効責任者 大田 効 (62-5727)
議員連絡先 うすい 孝彦 (62-5093)
服部 久子 (62-4357)
編集責任者 山本 久子 (61-1066)

藤野やすふみさんの再選果たす

今回の総選挙で日本共産党は、市民と野党の共闘を成功させることを大方針にすえて、立憲民主党、社民党、市民連合と7項目の政策合意を結び、協力・連携して選挙をたたかいました。

立憲民主党が公示前の15~55議席へ大きく躍進し、3党合流すると、公示前の38から69と大きく議席を増やしました。

総選挙直前に、民進党が希望の党へ合流するという重大な逆流が生まれましたが、全国289の小選挙区のうち249で野

党候補の一本化が行われました。共産党は全国67の小選挙区で予定候補者を降ろす決断をし、多くのところで自主的支援を行いました。この決断が、共闘勢力が全体として議席を伸ばすうえで、その貢献となつたことは、選挙結果がはつきりと示しています。

今回の対応は、安倍政権の暴走政治を止め、日本の政治に民主主義を取り戻すための力になりました。

総選挙の結果、自民党・公明党は議席の3分の2を占めましたが、これは希望の党という自民党の新しい補完勢力が、野党共闘に分断と逆流をもちこんだ結果と、大政党に有利な小選挙区制度に他なりません。

自民党の小選挙区の得票率は48%でしたが、75%の議席を獲得しています。

私たちが、総選挙の教訓を謙虚に受け止め、今後も皆さんの要求実現のために奮闘することを決意しております。